

事業番号	06 01 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	環境保全活動等推進事業費	部局	環境部	課・室	環境政策課、ゼロカーボン推進課	
		実施期間	H7 ～	E-mail	kankyo @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・県民に対して環境の保全や気候危機に対する関心を高めるための機会や情報等が必要である。
- ・2050ゼロカーボン実現のためには県民総参加の取組の推進が求められている。

2 事業目的

- ・県民の環境保全に対する意識を高めるとともに、将来の環境保全を担う人材育成を図る。
- ・県民・NPO・事業者等のパートナーシップによる持続可能な社会の構築を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

①県民総参加による環境保全の取組の推進

- ・環境に関する県民の学びを拡大し、県民の環境保全に対する意識を高めるとともに、将来の環境保全を担う人材育成を図るため、「信州環境カレッジ事業」を運営する。
- ・持続可能な社会の実現に向けて、県民・事業者・NPO・行政がお互いの理解と協力の下、環境に配慮したライフスタイルを確立する契機とするため、「信州環境フェア」を開催する。

②2050ゼロカーボンに向けた県民の気付き・学び・行動の促進

- ・環境と地域に根ざした持続可能なライフスタイルへの転換を実現するために、「ゼロカーボン社会共創プラットフォーム（くらしふと信州）」において、多くの主体が分野を超えて行動できる協力体制を構築する。
- ・「長野県ゼロカーボン戦略ロードマップ」に定めた「県民・事業者等の皆さまに重点的に取り組んでほしいこと」を周知し、県民・事業者等とともに脱炭素社会の実現に取り組む。



今できること、今学ぼう。未来のために。

信州環境カレッジ

SHINSHU ENVIRONMENTAL COLLEGE



4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
① ②	環境のためになること（環境に配慮した暮らし）を実行している人の割合	%	54.2	66.9	↗	63.4	↘	71.0	未達成 令和9年度に当該指標を80%にすることを目指し、令和6年度は71%を目標とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出	温室効果ガス総排出量	千t-CO2	2019 (R1)	13,798	2020 (R2)	13,038	2021 (R3)	13,913	2027 (R9)	9,633
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出	最終エネルギー消費量	万TJ	2019 (R1)	16.6	2020 (R2)	16.0	2021 (R3)	16.2	2027 (R9)	13.5
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出	☆再生可能エネルギー生産量	万TJ	2021 (R3)	3.0	2022 (R4)	3.0	2023 (R5)	3.1	2027 (R9)	3.7

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R6年度	0	72,538	0	72,538	32,285	62,472	4.0
R5年度	0	87,121	△ 14,435	72,686	29,822	69,261	4.0
R4年度	0	74,380	△ 7,903	66,477	29,700	60,275	4.0

事業番号	06 01 01	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	環境保全活動等推進事業費	部局	環境部	課・室	環境政策課、ゼロカーボン推進課	

7 主な取組実績と成果

①県民総参加による環境保全の取組の推進

・「信州環境カレッジ」では、環境教育（地球温暖化の単元）における学校及び教員の要望（ニーズ）を受け、気候変動の専門家を派遣し、生徒が主体的に気候変動について学習できるモデルを作成したほか、地域講座、学校講座を開催。（受講者数：延べ14,141人）

また、「ゼロカーボンCMコンテスト」を開催し、ゼロカーボンの実現に向けて、脱炭素型のライフスタイルを提案するCMを募集。最優秀賞作品は長野朝日放送でCMを放映。

・「信州環境フェア2024」を開催し、らんま先生や丸山貴史先生による子供向けの環境学習講座、企業による体験イベント、展示等を実施。（参加者数：約1,500人）

また、信州環境フェア地域連携事業として、県内で環境イベント等を計15回開催。



<「信州環境フェア2024」の様子>

②2050ゼロカーボンに向けた県民の気付き・学び・行動の促進

・長野市の中央通り沿いにある「ゼロカーボン社会共創プラットフォーム（くらしふと信州）」拠点施設において、企業や自治体のゼロカーボンに向けた取組を展示により紹介。（常設展示：通年 特別企画：8回）

・県内10圏域ごとに「ゼロカーボンミーティング」を企画・実施。
各地域の様々な主体による対話の場を開催。（開催回数：10回）



<「くらしふと信州」拠点施設>

・ゼロカーボンに向けた活動の裾野を広げるためのセミナー、ディスカッション、交流会の場として「くらしふとmeetup!」を企画化。様々な業界・分野の方との共同企画を各地で開催することで、ゼロカーボンマインドを地域に拡大。（開催回数：8回）



<「くらしふとmeetup!」>

・2050ゼロカーボンに向けた一人ひとりの行動を地域に拡げるため、深刻化する気候変動に対し、企業・行政・県民などのあらゆる立場でどう連携して取組を加速化できるか、ゲストスピーカーとの対話を通じて考える「くらしふとカンファレンス2025」を開催。（参加者数：122名）



<「くらしふとカンファレンス2025」>

・脱炭素に向けた課題を市町村が発表し、自社のソリューションを企業が発表する「脱炭素共創ピッチ・エネルギー自立地域マッチング」を開催。（参加者数：5者）

・長野県ゼロカーボン戦略ロードマップの内容をふまえ、気候変動の影響やゼロカーボンの意味、脱炭素に向けて家庭や企業活動で行える具体的な行動例などをわかりやすく紹介する「ゼロカーボンPR動画」を作成



<「ゼロカーボンPR動画」>

・「くらしふと通信」（メールマガジン）でゼロカーボンに関する各地のイベントや、県内外の動向、助成制度等を登録者に広く発信。（配信回数：48回）

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①②	環境のためになること（環境に配慮した暮らし）を実行している人の割合	R5年度推移	↗	R6年度推移	↘	達成状況	未達成
「環境のためになること（環境に配慮した暮らし）を実行している人の割合」は63.4%であり、目標値の71.0%には届かなかった。他方、「地球温暖化に関心がある人の割合」は約9割であることから、取り組み方や取組の効果が十分認識されていないことが要因と考えられる。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

・県民参加による環境保全の取組を推進するため、県内全域での県主催イベントの実施や、環境保全団体等による講座・イベントの開催支援等により、県民への情報発信を積極的に行った。しかし、成果指標としている「環境のためになることを実行している人の割合」が十分に増加していないことから、より身近でわかりやすい取組の周知を行うなど、情報発信の内容や方法を検討する必要がある。

(2) 事業改善の方策

・より多くの県民に気候変動を自分事として捉えていただけるよう、「信州環境カレッジ」の講座や「信州環境フェア」、「くらしふと信州」拠点施設における展示・体験コンテンツを充実するとともに、ゼロカーボンPR動画の活用やゼロカーボン動画コンテストの実施など、普及効果が高い動画コンテンツを活用した取組等を行い、環境に配慮した行動への意識変容・行動変容を促す。
・ゼロカーボンに向けた課題を、市町村や企業・団体とともに考え、解決に向け様々な支援を行っていく。
・「公・民・学連携」の取組を各地域で進め、ゼロカーボンの輪を広げるためのプロジェクトを推進していく。

事業番号	06 01 01	細事業一覧（令和6年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	環境保全活動等推進事業費		部局	環境部	課・室	環境政策課、ゼロカーボン推進課

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	県民総参加による環境保全の取組の推進		33,822 千円	38,873 千円	34,800 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	環境審議会、専門委員会の運営	直接	長野県内における環境の保全に関する基本的事項等の調査審議を目的として、学識経験者等で構成される審議会を設置・運営する。		
			環境審議会の開催：6回、専門委員会の開催：8回		
2	信州環境フェア実行委員会に対する負担金	負担金	環境に配慮したライフスタイルを確立する契機とするため、信州環境フェア実行委員会に参画し、「信州環境フェア」を開催する。		
			令和6年度来場者数：1,500名		
3	信州豊かな環境づくり県民会議に対する負担金	負担金	県民総参加による環境保全活動により、持続可能な郷土を築くため、「信州豊かな環境づくり県民会議」と連携する。		
			令和6年度構成団体数：79団体		
4	長野県環境保全協会に対する補助金	補助金	県が指定する「長野県地球温暖化防止活動推進センター」として、地域や家庭、事業者への普及啓発及び県地球温暖化防止活動推進員の活動等を推進する。		
			令和6年度地球温暖化防止活動推進員研修：2回実施		
5	信州環境カレッジ事業	委託	県民の環境保全に対する意識の向上と将来の環境保全を担う人材の育成のため、「信州環境カレッジ」により、環境教育を推進する。		
			令和6年度受講者数：14,141人		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	2050ゼロカーボンに向けた県民の気付き・学び・行動の 促進		26,453 千円	30,388 千円	27,672 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ゼロカーボン社会共創プラットフォーム 事業	直接	・環境と地域に根ざした持続可能な暮らしを実践している方々の好事例や課題等を共有する場を提供するなど、多くの主体が分野を超えて行動できる協力体制を構築。 ・県内各地において学生、企業・団体、自治体等の多様な主体による対話の場として「ゼロカーボンミーティング」を開催。		
		委託			
		負担金	「くらしふとカンファレンス」の開催：1回、「ゼロカーボンミーティング」の開催：10回		
2	「長野県ゼロカーボン戦略」発信事業	直接	ロードマップに定めた「県民・事業者等の皆さまに重点的に取り組んでほしいこと」を広く周知するための広報ツールを作成。		
		委託	「ゼロカーボンPR動画」を作成		
3	気候危機突破プロジェクト推進事業	直接	「長野県ゼロカーボン戦略」で定めた気候危機突破プロジェクトを推進するため、国内外の情報収集を行うとともに、市町村を対象とした企業ピッチ※を実施 ※企業等が自社のサービスや技術等を短時間で紹介する催し		
		委託			